

令和7年6月27日 16時00分

資料配布 近畿地方整備局足羽川ダム工事事務所

第25回 足羽川ダム建設事業推進協議会の結果概要について

足羽川ダム建設事業及びこれに伴う水源地域対策について、国土交通省、福井県、池田町の三者が相互に連携・協力し、計画的な事業の推進を図るため、協議会を開催しました。協議会の結果概要は、別紙のとおりです。

<取扱い>

<配布場所>

福井県政記者クラブ

<問合せ先>

国土交通省 近畿地方整備局 足羽川ダム工事事務所	副所長	じんご 神後	まさふみ 雅文	
	事業対策官	いしとび 石飛	たかし 隆司	TEL(0776)27-0642(代表)
福井県 土木部 河川課	参事	やまぎし 山岸	りえ 理恵	TEL(0776)20-0485
池田町 ダム対策室	室長	たなか 田中	やすたか 康隆	TEL(0778)44-8005

第 25 回 足羽川ダム建設事業推進協議会 結果概要

日 時：令和 7 年 6 月 27 日（金）13:00～14:00

場 所：福井県庁 正庁

出席者：	近畿地方整備局	河川部長	<small>つねやま</small> 常山	<small>しゅうじ</small> 修治
	福井県	土木部長	<small>ひらばやし</small> 平林	<small>とおる</small> 透
	池田町	副町長	<small>みぞぐち</small> 溝口	<small>じゅん</small> 淳

【目的】

『足羽川ダム建設事業推進協議会』は、足羽川ダム建設事業及びこれに伴う水源地域対策について、国土交通省、福井県、池田町の三者が相互に連携・協力し、計画的な事業の推進を図るため平成 18 年 10 月 10 日の基本協定の締結をもって設置されたものである。

本日の第 25 回協議会は、足羽川ダム建設事業の進捗等を議題として開催したものである。

【協議会概要】

- ダム建設事業及び水源地域対策の進捗状況について確認した。

【協議内容】

〈足羽川ダム建設事業の進捗について〉

- 足羽川ダム建設事業の進捗について、ダム本体建設工事・水海川導水トンネル工事・水海川分水施設関連工事・付替道路工事等の工期に遅れがないこと及び令和 5 年度に変更した事業費内で進捗が図れていることを国より報告。
- 事業進捗管理及びコスト縮減の取り組みについて、引き続き徹底を図り、一日も早い完成を目指して着実に事業を推進していくことを確認した。

〈足羽川ダム建設事業に係る水源地域対策の進捗について〉

- 水源地域対策の取り組み状況について県及び町より報告され、着実な事業の進捗に向け三者が協力していくことを確認した。

〈国からの報告事項に対する福井県の要請〉

- 引き続き、コスト縮減の取り組みや事業費等監理の徹底をお願いした。

〈国からの報告事項に対する池田町の要請〉

- 水源地域対策について、計画通り着実な進捗をお願いした。

〈池田町から国及び県に対する要請事項〉

- 脱炭素社会実現への協力をお願いした。

＜第25回＞
足羽川ダム建設事業推進協議会

令和 7年6月27日（金）
13時00分～14時00分
福井県庁 正庁

会 議 次 第

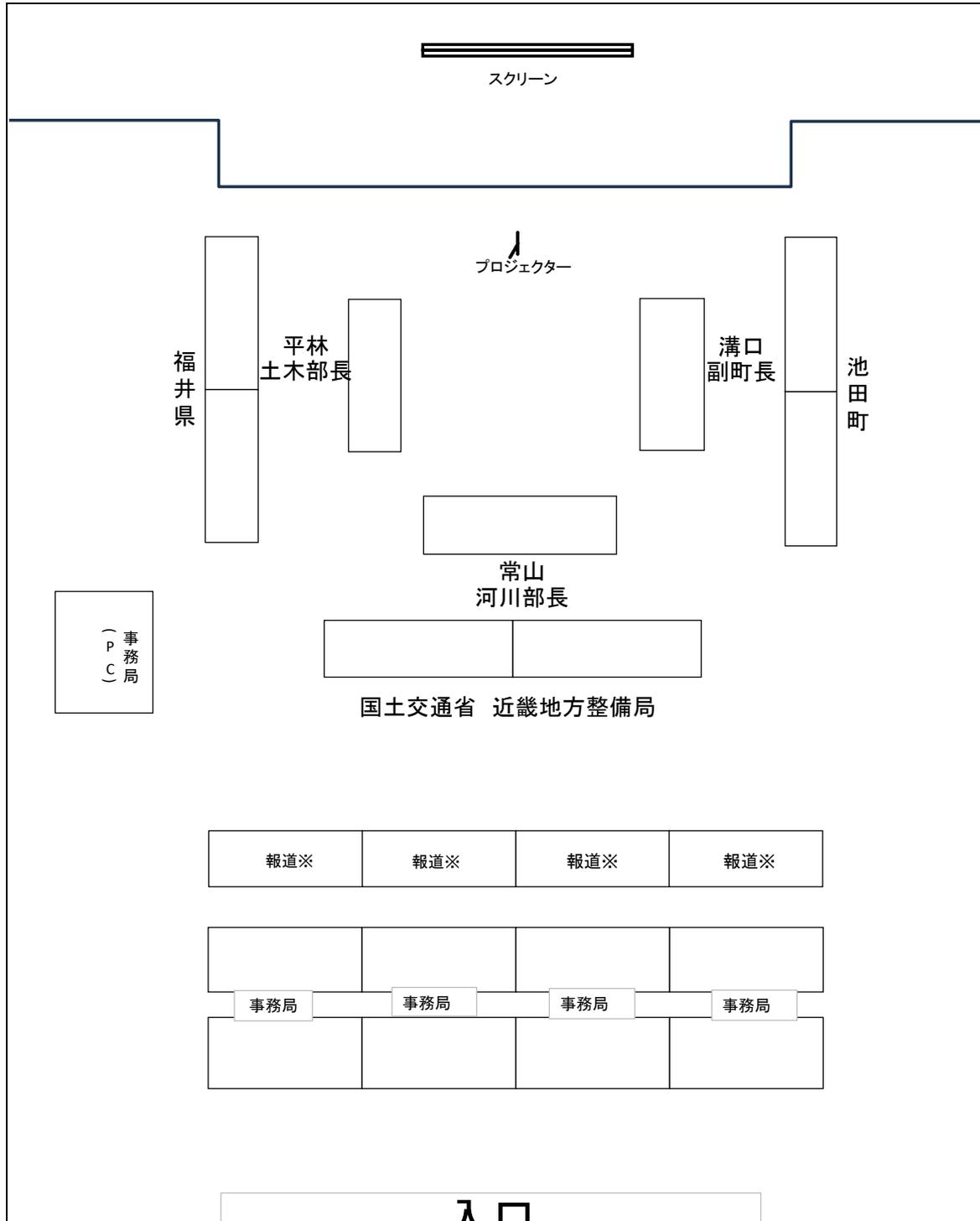
1. 開 会
2. 挨 拶
3. 議 事
 - (1) 足羽川ダム建設事業の進捗について（資料1, 2）
・・・・・・・・・・国交省説明
 - (2) 足羽川ダム建設事業に係る水源地域対策について（資料3）
・・・・・・・・・・県・町説明
 - (3) その他
4. 閉 会

資料一覧

- | | |
|-------|------------------------|
| 資料1、2 | 足羽川ダム建設事業の進捗状況 |
| 資料3 | 足羽川ダム建設事業に係る水源地域対策について |

第25回 足羽川ダム建設事業推進協議会(配席図)

福井県庁 正庁



※報道機関は、頭取まで

足羽川ダム建設事業の進捗状況

1. 事業計画

① 工事計画関係

- ・令和7年度予算：約182.3億円。
- ・ダム本体建設工事に着手（令和2年11月）。
- ・ダム本体堤体打設開始（令和4年10月）。
- ・ダム本体、水海川導水トンネル、水海川分水施設関連工事及び付替道路工事等を引き続き実施。

② 環境アセスメント

- ・『足羽川ダム環境モニタリング委員会』により、環境モニタリング計画を審議。
（第1回：平成26年3月14日、第2回：平成27年2月25日、第3回：平成28年3月9日、
第4回：平成29年3月8日、第5回：平成30年3月15日、第6回：平成31年3月14日、
第7回：令和2年3月19日、第8回：令和3年3月18日、第9回：令和3年12月8日、
第10回：令和4年3月18日、第11回：令和5年3月16日、第12回：令和6年3月13日、
第13回：令和7年3月10日）
- ・今年度も引き続き、環境調査（モニタリング調査）を継続実施する。

2. 生活再建対策

① 用地補償関係

- ・平成25年8月下旬より、土地、物件調書の確認が終了した地権者に対し、補償金額を提示し、契約締結を開始。
- ・令和3年3月末現在で、家屋の移転を伴う68戸全ての移転を完了。事業用地買収は全体面積の約99%の進捗。
- ・事業認定の告示（令和3年3月16日）。土地明渡し、登記完了（令和4年2月20日）。
- ・今年度も引き続き、未買収地等の補償交渉を実施する。

② 代替地関係

- ・池田町内の集団移転地については、平成26年11月に2戸全ての移転契約を完了。
（平成27年12月に完成）
- ・福井市内の集団移転地については、平成28年7月に6戸全ての移転契約を完了。
（平成30年12月に完成）

③ 公共補償について、平成30年3月に池田町と全ての契約を完了。

3. 地域振興策

- ・第12回足羽川ダム建設推進協議会（平成26年10月17日開催）にて、池田町の地域振興策について、国、福井県、池田町で協定締結。
- ・平成27年3月11日、水源地域整備計画が決定。
- ・令和4年7月19日、地域活性化施策の実施に関する変更協定締結
- ・現在地域振興策が各事業主体により実施中。

4. その他

① 不当要求行為関係

- ・事業の円滑な推進や関係者の安全の確保を図るため、福井県警察本部などの関係機関と連携し「足羽川ダム建設事業に関する不当要求行為等対策連絡会」を開催。
（第1回：平成26年4月22日、第2回：平成27年5月22日、第3回：平成28年5月24日、
第4回：平成29年5月25日、第5回：平成30年6月1日、第6回：令和元年5月24日、
第7回：令和2年8月5日、第8回：令和3年6月24日、第9回：令和4年7月25日、
第10回：令和5年6月15日、第11回：令和6年7月25日）

② 工事現場の安全・衛生・環境保全について

- ・事業区域内で大小様々な規模の工事を重複して進捗している中、工事現場の安全・衛生・環境保全に関する委員会を設立（第1回：平成30年8月22日、第2回：平成30年11月1日、
第3回：令和元年10月25日、第4回：令和2年11月6日、第5回：令和3年12月3日、
第6回：令和4年12月8日、第7回：令和5年12月5日、第8回：令和6年12月4日）。

③ 広報関係

- ・インフラツーリズムの推進

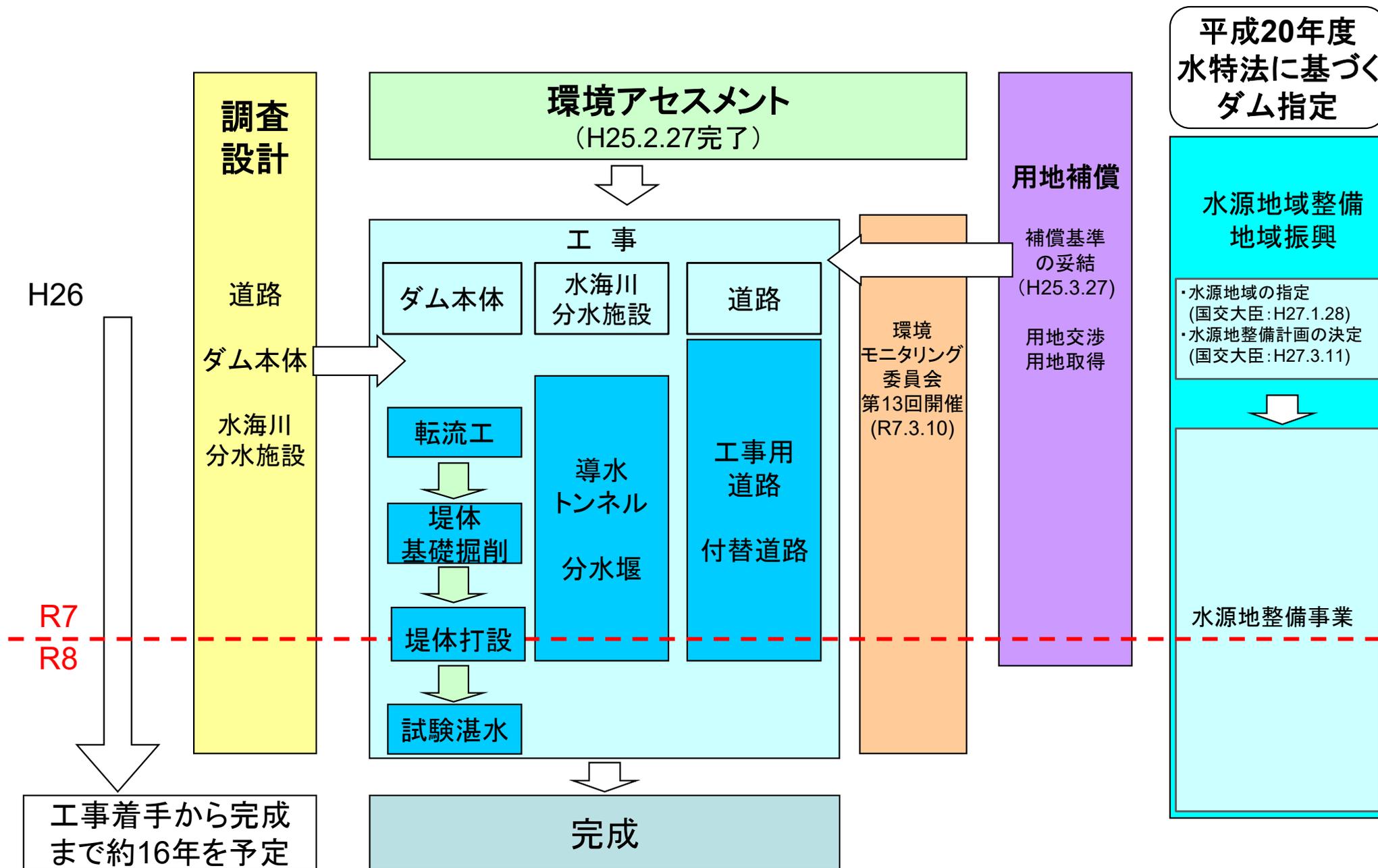
第25回

足羽川ダム建設推進協議会資料 (足羽川ダム建設事業の進捗状況)

令和7年6月27日

足羽川ダム工事事務所







事業完了までに要する必要な工期 (案)

:クリティカル

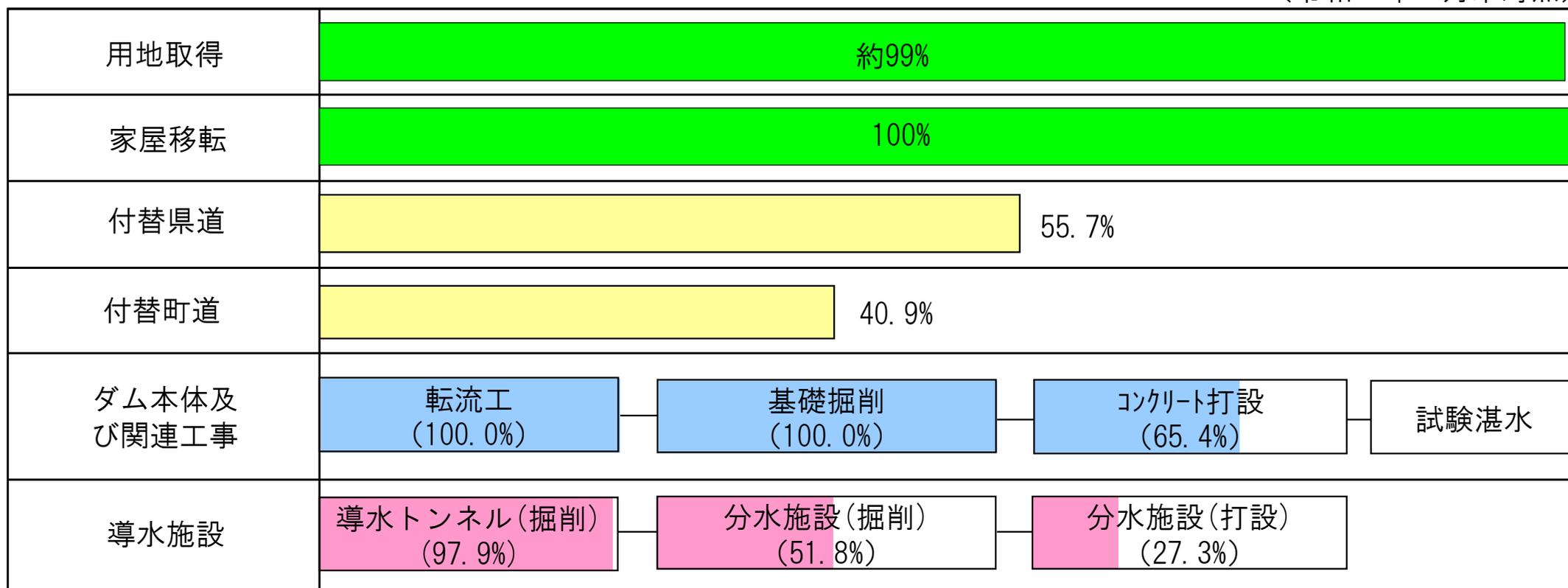
種 別		H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
ダム 堤 体 の 工 事	仮排水路トンネル(転流工)																
	ダム本体掘削(堤体基礎掘削工)																
	堤体打設																
	管理設備工・放流設備工																
工事用道路(工事用道路の設置工事)																	
導水トンネル(導水施設(分水堰含む)の 工事(部子川～水海川))																	
建設発生土の処理																	
付替道路(道路の付替工事)																	

※今後行う詳細な検討結果や設計成果、予算の制約や入札手続き等によっては、見込みのとおりとならない場合がある。



- 令和7年度は、引き続き事業に必要な用地取得及びダム本体工事、導水トンネル工事、分水施設関連工事及び付替道路工事を実施する。
- 令和7年度中に用地買収完了予定。

(令和7年5月末時点)



※付替県道・町道の進捗率は、契約ベースによるもの

凡例 用地取得 付替工事 本体関連 導水施設

令和7年度は、約182億円をもって、以下の内容を実施します。

■ 用地及び補償費 約 36億

- ・ダム建設に必要な土地等の取得、物件補償を継続して実施します。
- ・補償工事として付替道路工事を継続して実施します。

■ 工事費 約 127億

- ・ダム本体(堤体打設)工事及び原石山の掘削工事を継続して実施します。
- ・水海川導水トンネルの掘削完了及び本川及び左岸貯砂ダムが完成します。
引き続き、水海川導水トンネル工事及び水海川分水施設関連(分水堰、貯砂ダム)工事を実施します。

■ 測量設計費等 約 19億

- ・ダム関連施設(管理設備含む)の設計及び必要となる調査を継続して実施します。
- ・水位・流量観測、雨量観測、河川の水質観測や気象観測、環境モニタリング調査を継続して実施します。

ダム本体関連工事



(ダム右岸)

(ダム左岸)

足羽川ダム本体建設(第2期)工事



足羽川ダム本体建設(第2期)工事
(骨材製造設備)

付替県道



足羽川ダム付替県道4号橋他工事

水海川分水施設



足羽川ダム水海川貯砂ダム工事

導水トンネル

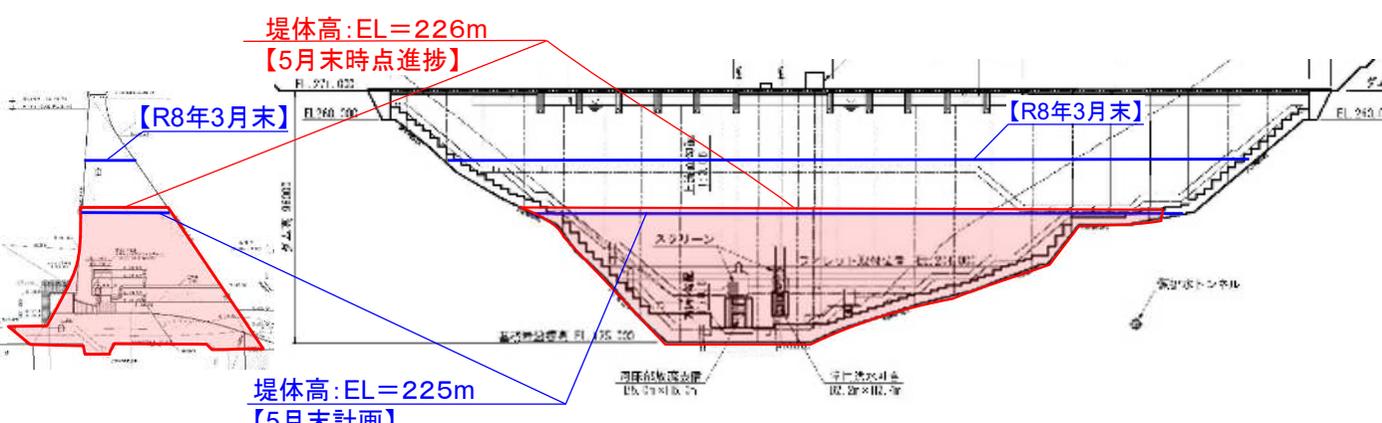


水海川導水トンネル3期工事

■ 工事内容

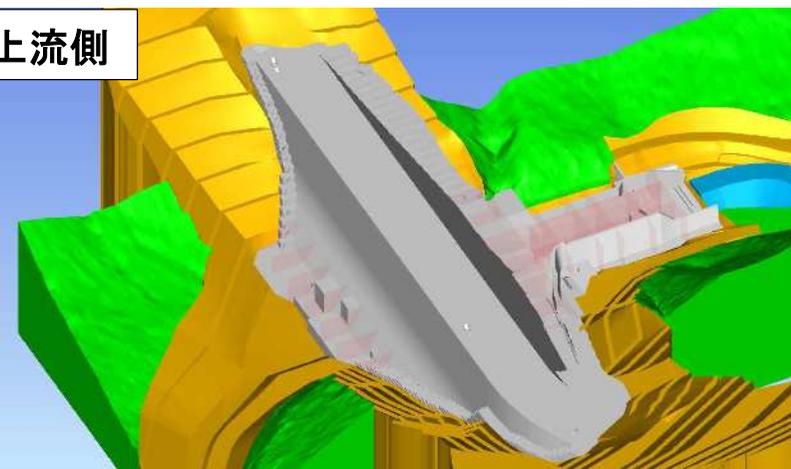
令和2年度より、ダム本体建設工事に着手し、令和4年10月に基礎掘削完了、コンクリート打設に着手。令和7年度5月末時点で65.4%まで打設。

ダム本体 断面図・上流面図

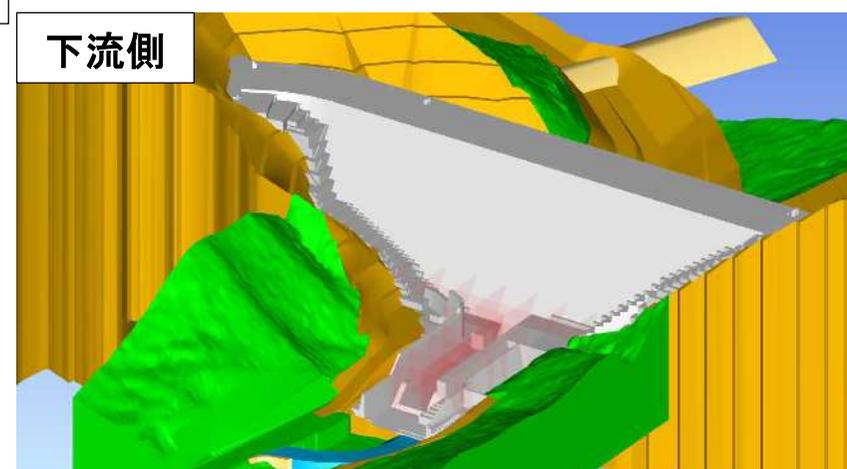


● 進捗イメージ(CIM) R8.3末時点

上流側



下流側



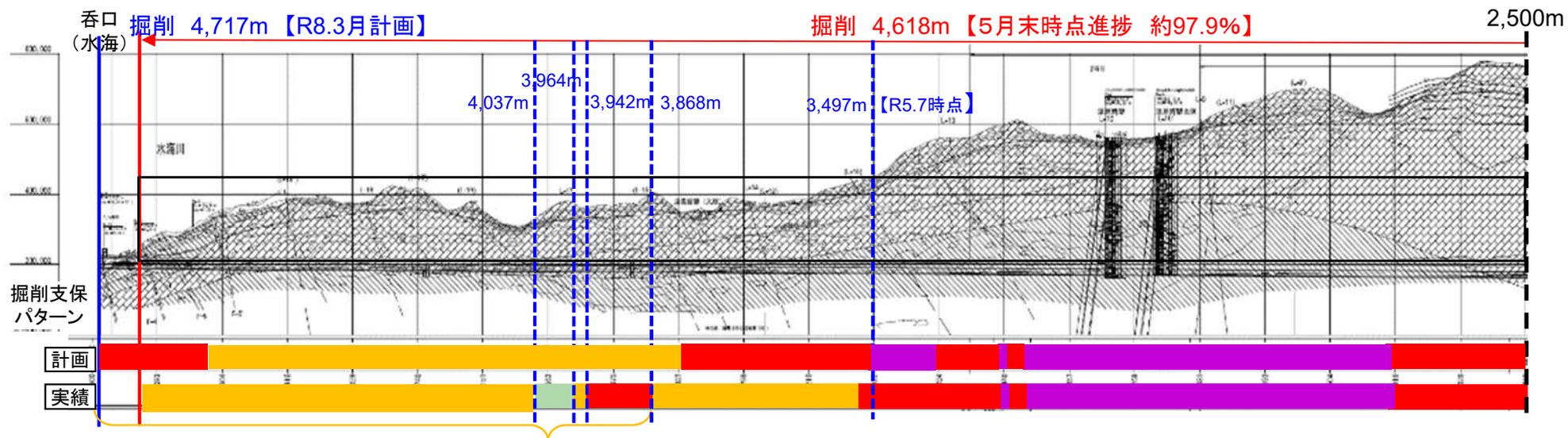
※打設計画については、今後変更になる可能性があります。

ダム打設状況
(上流側)





○トンネル全延長4,717mに対して、令和7年5月末時点で4,618mまで掘削が進行(約97.9%の進捗)



○3,868m地点よりD IIとなっていたが、3,942m地点よりD Iとなり、概ね設計通りの地質状況となっている。

今年度冬には掘削完了予定。
(残りは分水堰側からの掘削となり、R8年度当初貫通予定)

○水海川導水トンネル技術検討委員会において、水海川導水トンネルに関する工事に対して、施工の確実性の向上に資するため、委員より技術的な指導、助言を得ている。

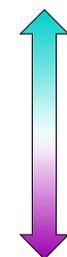
○第6回委員会(令和6年7月2日開催)において、「地山状況は改善傾向にあるが、引き続き長尺ボーリングによる前方予測と切羽の状況を見極めながら、状況に応じた支保パターンで掘削を進めること。地山状況の悪化が認められる場合は、適切な補助工法の採用を検討すること。」との意見を頂く。



掘削支保パターン凡例

- CI
- CII
- DI
- DII
- DIII
- EI
- EII

地山の状態が良い



掘削支保パターン

地山の状態が悪い

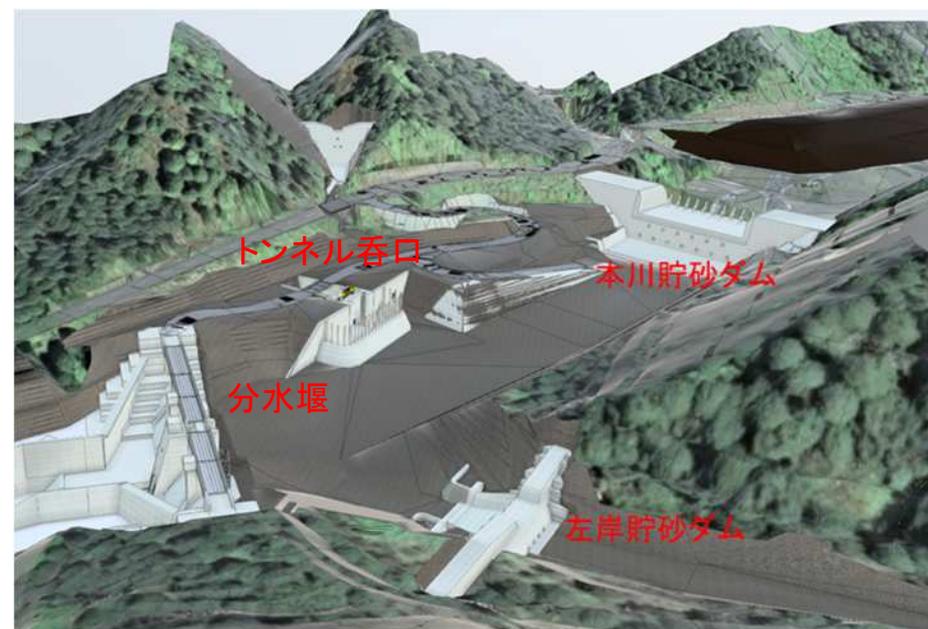
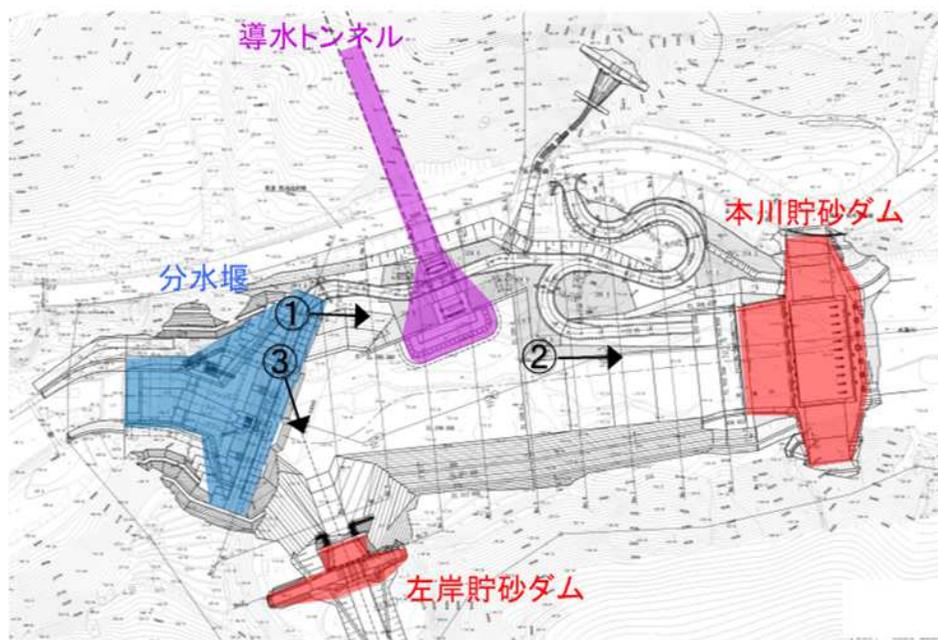
水海川分水施設工事について(進捗状況)



(足羽川ダム工事事務所)

令和4年度より水海分水施設関係工事に着手。

令和7年5月末時点の進捗率は 分水施設（掘削）51.8%、分水施設（打設）27.3%

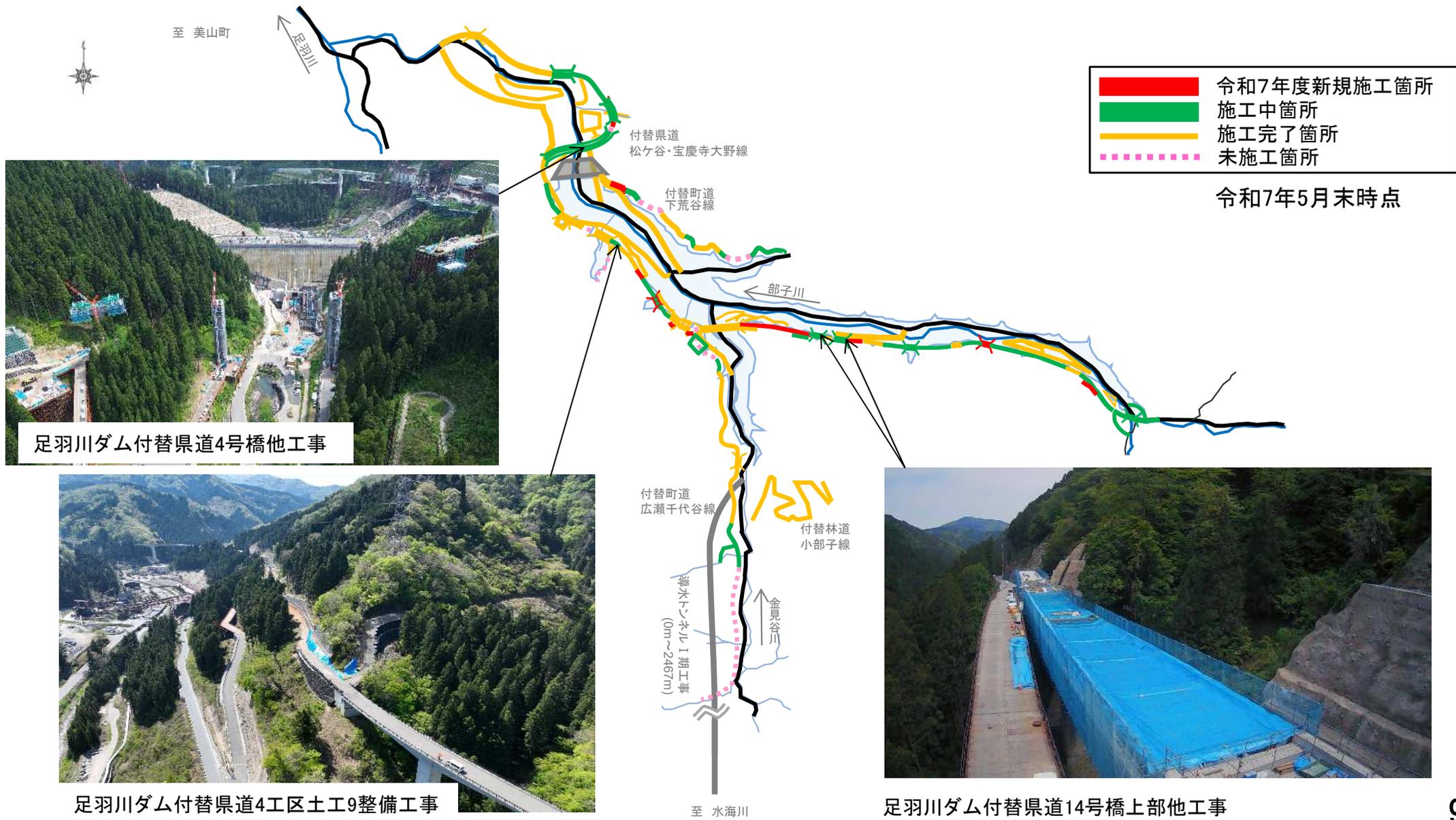


付替道路について(進捗状況)

■ 工事内容

平成25年度より付替道路事業に着手。

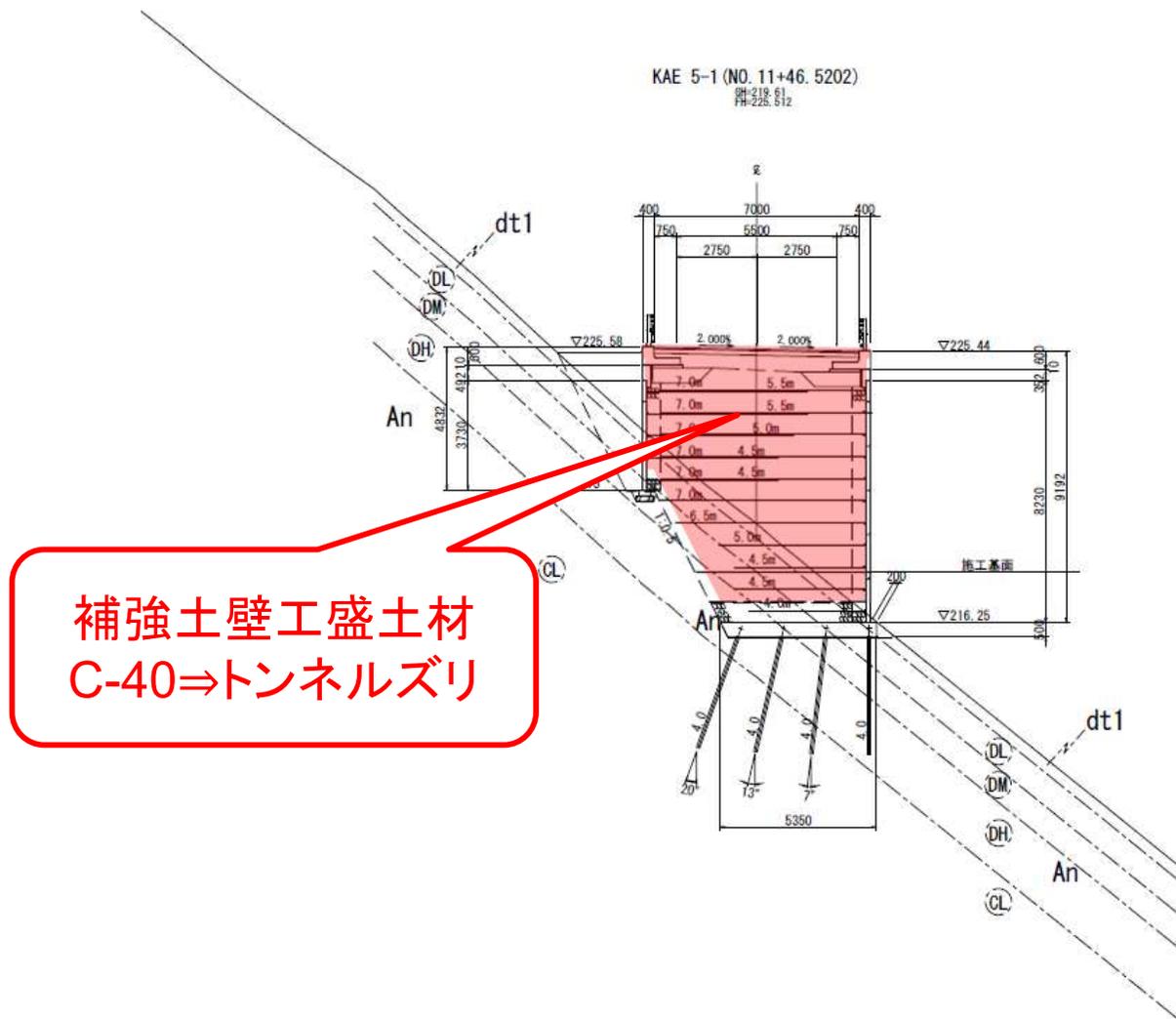
令和7年度5月末時点で、付替県道については55.7%、付替町道については40.9%の進捗率。





トンネルずりの付替道路への流用

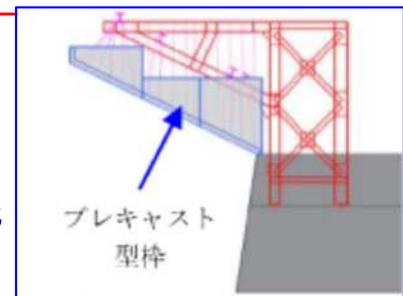
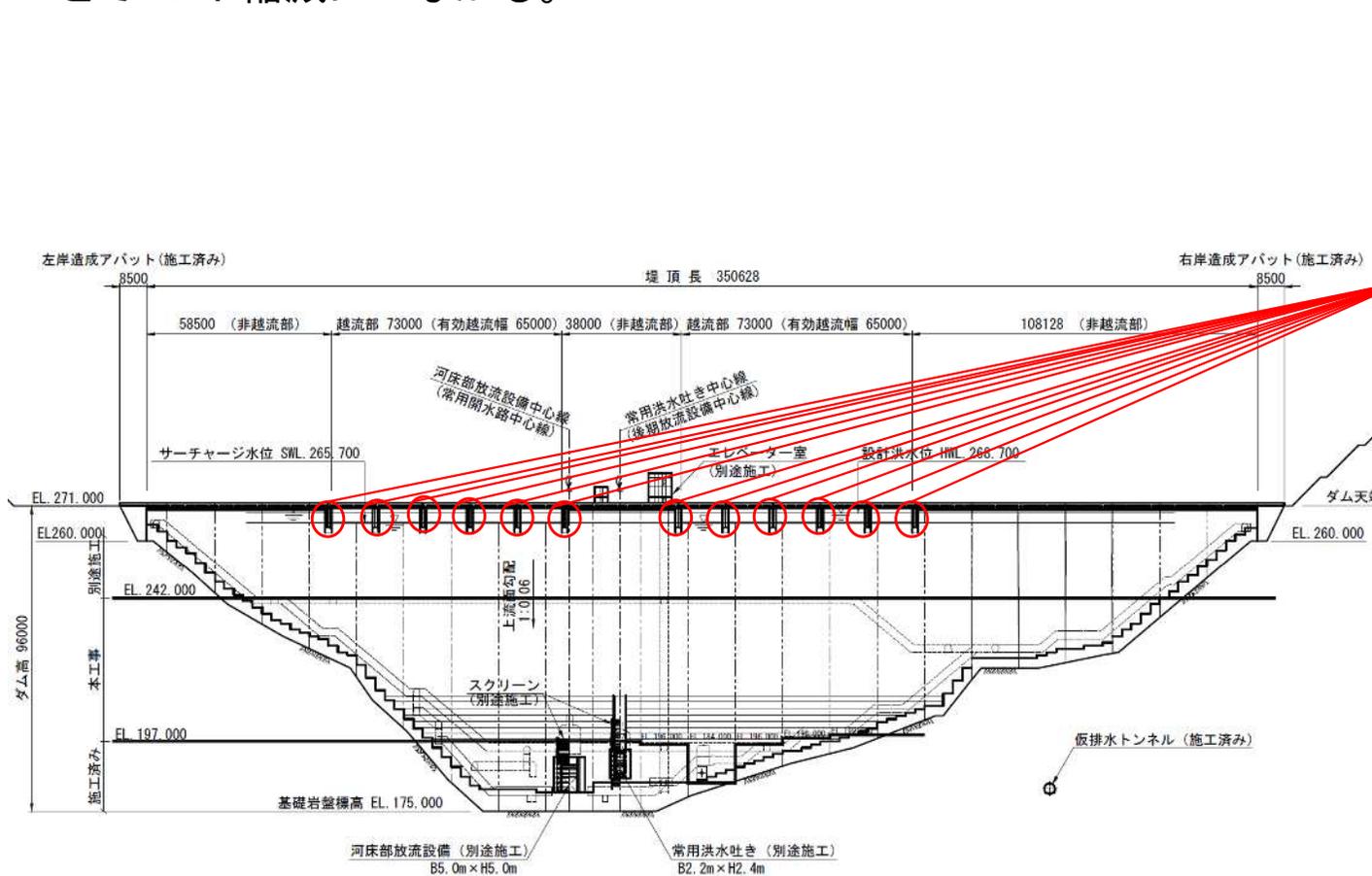
- 付替道路工事の盛土区間で使用する材料を購入材C-40(80,000m³)からトンネルずりに切り替えることによりコスト削減に取り組んでいる。





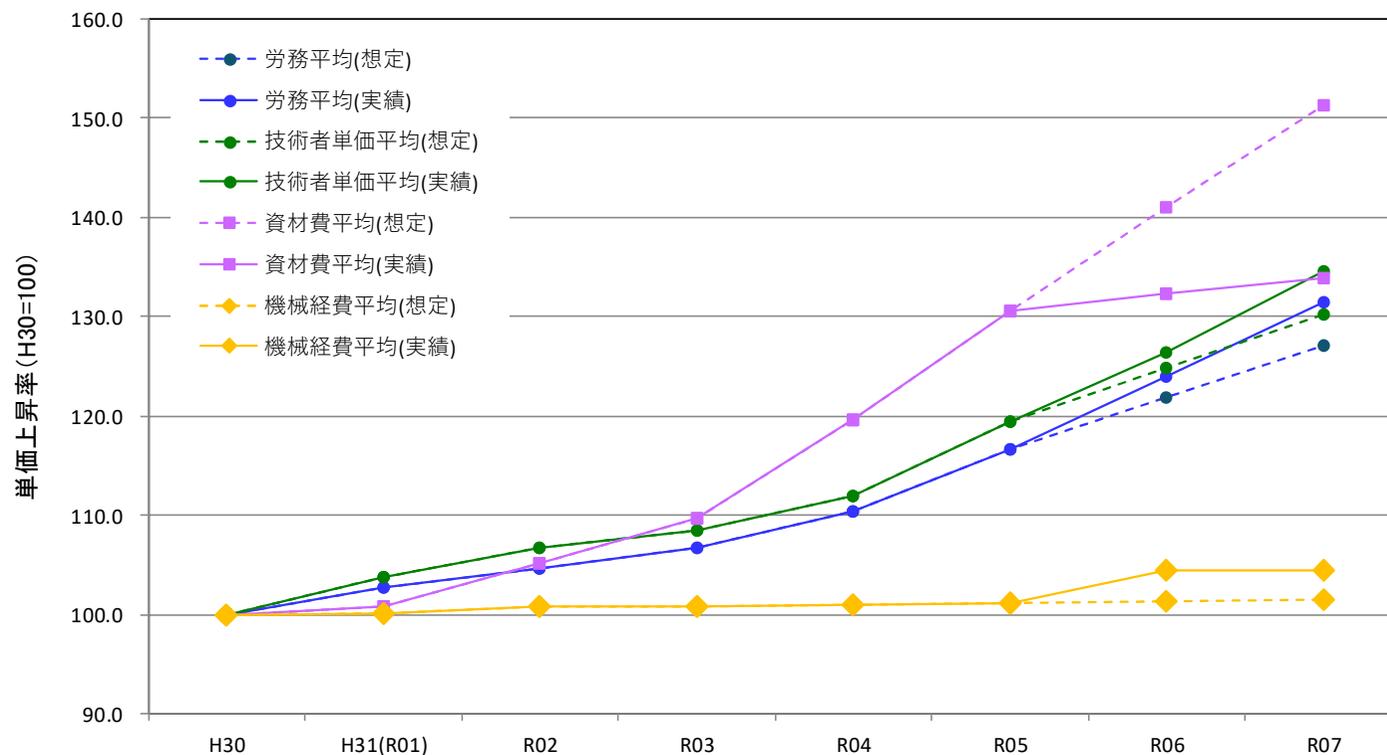
天端橋梁のプレキャスト化

- 天端橋梁の橋脚の型枠を通常の型枠からプレキャスト型枠に変更する予定。
- プレキャスト型枠による工期短縮及び型枠設置にかかる仮設等が減少することでコスト縮減につながる。



プレキャスト型枠のイメージ

● R7年度も公共工事関連単価は上昇傾向にあり、資材費・機械経費は横ばいになりつつあるが、労務・技術者単価は事業費改定時想定より上昇率が高い傾向。



	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
--- 労務平均(想定)	-	-	-	-	-	-	121.9	127.1
— 労務平均(実績)	100.0	102.7	104.6	106.7	110.4	116.6	123.9	131.5
--- 技術者単価平均(想定)	-	-	-	-	-	-	124.8	130.3
— 技術者単価平均(実績)	100.0	103.8	106.7	108.5	112.0	119.4	126.3	134.5
--- 資材費平均(想定)	-	-	-	-	-	-	140.9	151.3
— 資材費平均(実績)	100.0	100.9	105.2	109.7	119.6	130.5	132.3	133.8
--- 機械経費平均(想定)	-	-	-	-	-	-	101.3	101.5
— 機械経費平均(実績)	100.0	100.1	100.7	100.8	101.0	101.2	104.4	104.5

『第13回 足羽川ダム環境モニタリング委員会』の開催 (R7. 3. 10)

【モニタリング委員会概要】

日時: 令和7年3月10日

目的: 足羽川ダム工事の現地着手するにあたり、評価書を踏まえ実施する環境調査や環境保全措置等の内容について、環境面から専門家の意見を伺うことを目的に開催

委員会メンバー:

委員長: 福原輝幸 (福井大学 名誉教授: 水環境)

委員: 上野裕介 (石川県立大学 生物資源環境学部

環境科学科 准教授: 鳥類・生態系)

: 奥村充司 (福井工業高等専門学校

環境都市工学科 准教授: 水環境)

: 松田隆喜 (福井県立道守高等学校 教諭: 魚類)

: 松本淳 (越前町立福井総合植物園 園長: 植物)

(50音順・敬称略)

委員会結果: 令和6年モニタリング調査結果と環境保全措置の内容及び令和7年モニタリング調査計画(案)について、今後の調査及び環境保全措置の実施計画を確認



委員長挨拶



委員会開催状況



第13回足羽川ダム環境モニタリング委員会において、令和6年の調査結果を報告し、委員より意見をいただいた。

○クマタカ繁殖状況の調査結果

■Aペア

委員会資料抜粋

【繁殖結果】 繁殖成功

・令和6年2月に監視止まり、同種に排斥行動、3月に並び止まりや交尾を確認した。6月の踏査で既存の巣IVに約38日齢の巣内雛を確認した。9月20日には幼鳥の飛翔を確認したため、繁殖成功と判断。

■Bペア

【繁殖結果】 繁殖成功

・2月に監視止まり、巣材運搬を確認し、3月7日に抱卵開始、4月22日に孵化を確認した。7月5日に営巣地監視システムにより巣立ちを確認し、8月調査では幼鳥の飛翔を確認したため、繁殖成功と判断

■Dペア

【繁殖結果】 繁殖なし

・令和6年3月には、成鳥の監視止まり、交尾を確認したが、産卵は確認されず、7月以降の巣立ち時期にも幼鳥の確認がなかったため、繁殖はなかったと判断。

■Eペア

【繁殖結果】 繁殖成功

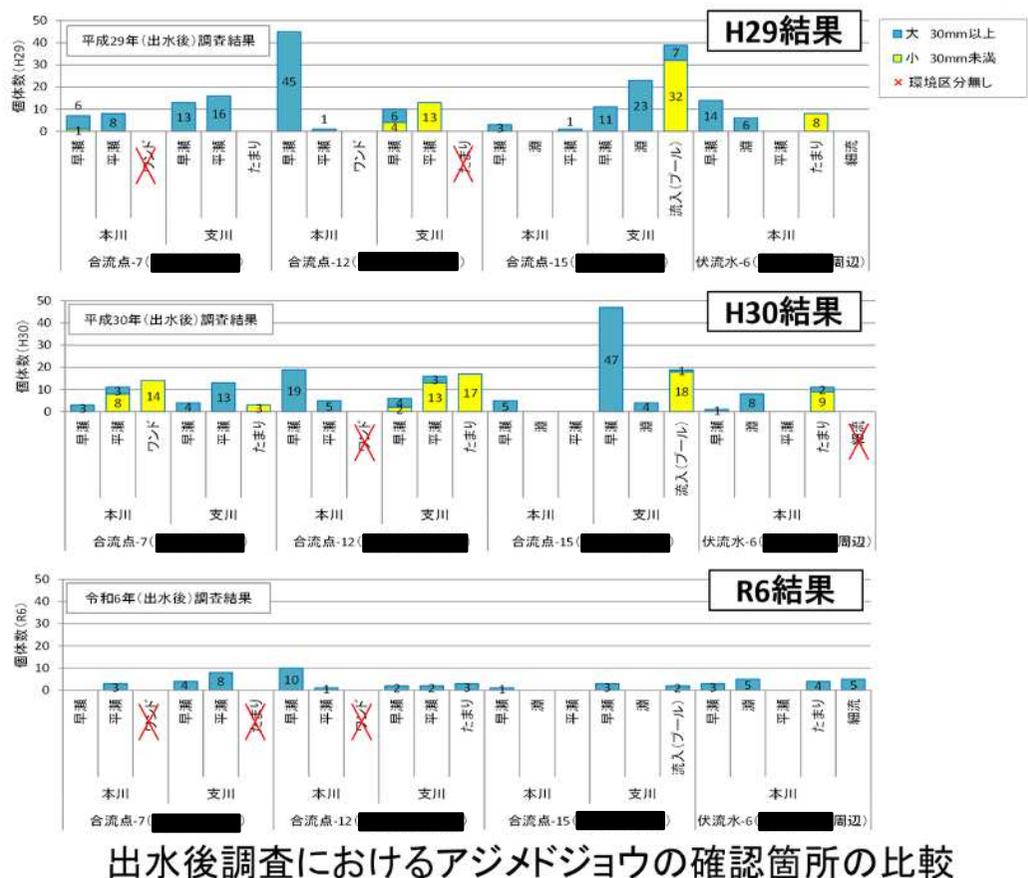
・令和6年5月調査において雌成鳥が羽を乾かした後、スギ林内に消失する行動を確認したことにより、6月の踏査で新たな巣Vにて巣内雛を確認した。9月調査では幼鳥の飛翔を確認したため、繁殖成功と判断

【委員からの意見】

クマタカDペアの繁殖失敗の要因について、これまでの調査結果(視覚・騒音データ等)を用いて考察を深めること。

○アジメドジョウの出水後の調査結果

委員会資料抜粋



【委員からの意見】

保全措置検討のための出水時調査に水温も考慮しながら評価することに加え、生息状況調査の実施を検討すること。

今年も民間旅行会社として初開催！！

～足羽川ダムナイトツアーで現場案内を行いました～

-足羽川ダム工事事務所-

R7.5.19

昨年実施している大好評のナイトツアーを今年も実施しました。

足羽川ダム建設事業は、現在、ダム堤体のコンクリート打設が最盛期であり、昼間だけでなく夜間も工事を進める足羽川ダムを知っていただくため、昨年度からナイトツアーを実施しています。

今回は地元池田町の民間旅行会社が主催するバスツアーとして、足羽川ダムの巨大インフラツーリズムと夜間の幻想的な工事現場を楽しんでいただきました。

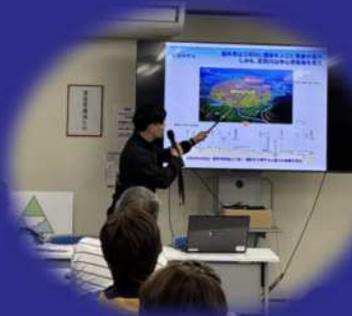
監査廊見学



実施概要

- 日時：令和7年5月14日（水）
19時00分～21時00分
- 場所：足羽川ダム建設事業地
- 参加者：13名
- 主催：池田観光トラベル（株）
- 案内：足羽川ダム工事事務所
清水・大林JV
- 参加費：有料（6,000円）
※民間主催イベントのバスツアー代

事業概要説明



ダム左岸天端



記念撮影



インフラツーリズムとして取材を受け、テレビで放送されました！！

参加者の感想

- 詳しい事業概要を聞くことができ、幻想的な工事現場も見ることができてとても満足するツアーでした。中でも、普段入ることが出来ない監査廊に入ることができてとても感激しました！
- 幻想的な夜間の工事現場に感動しました！旅行会社と連携して昼のツアーも企画してほしいです。
- 有料でしたが迫力のある工事現場を見ることができて、とても満足しました。完成したらもう一度見に行きたいです。

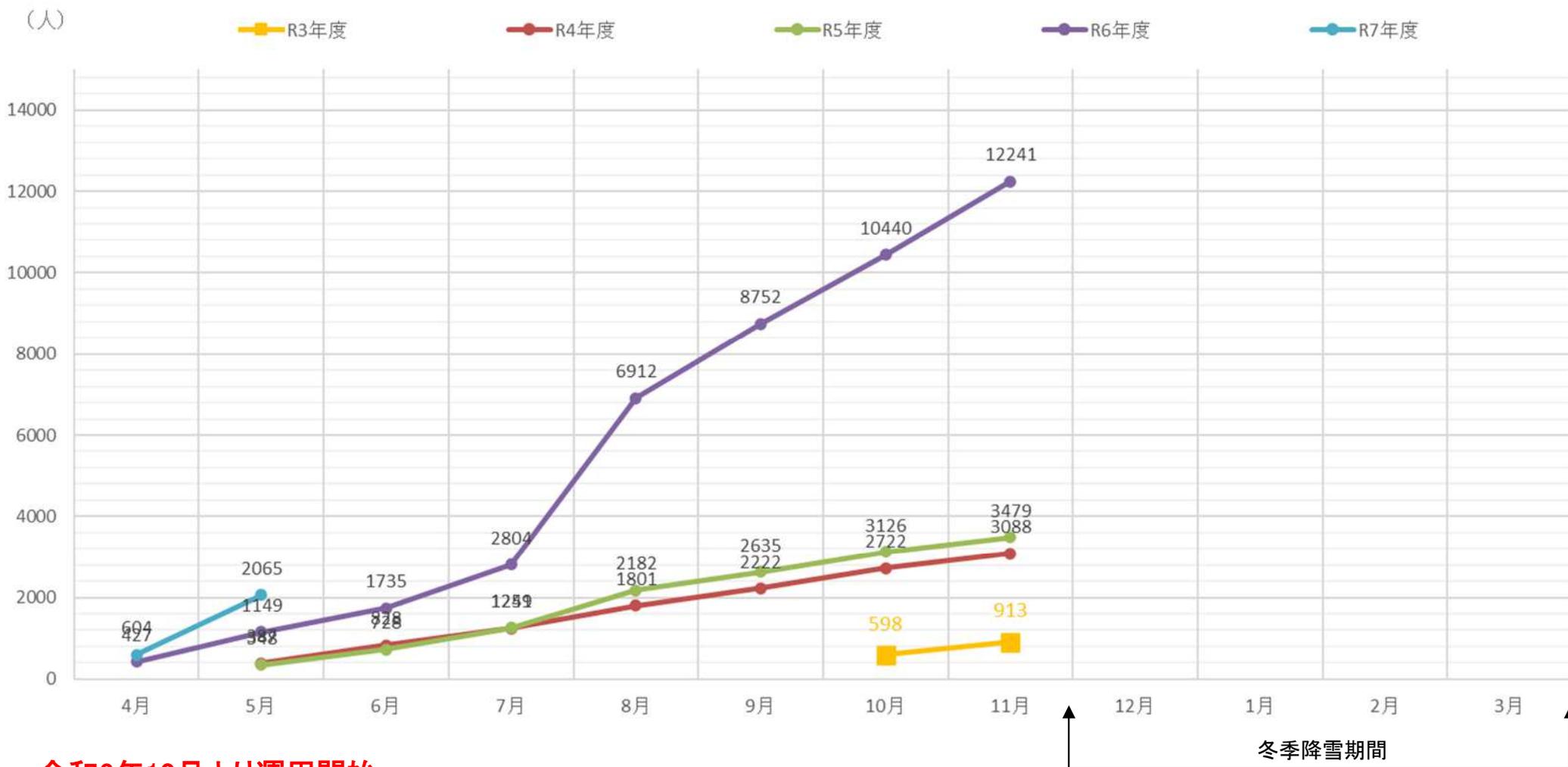
【問合せ先】

国土交通省 近畿地方整備局
足羽川ダム工事事務所 調査設計課
〒918-8239
住所 福井県福井市成和1丁目2111
TEL 0776-27-0642



足羽川ダム本体建設工事展望台・ダムギャラリーあすわ 来場者数

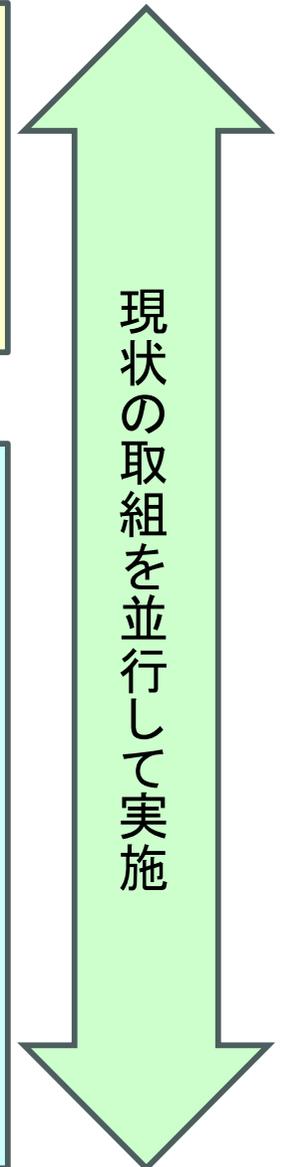
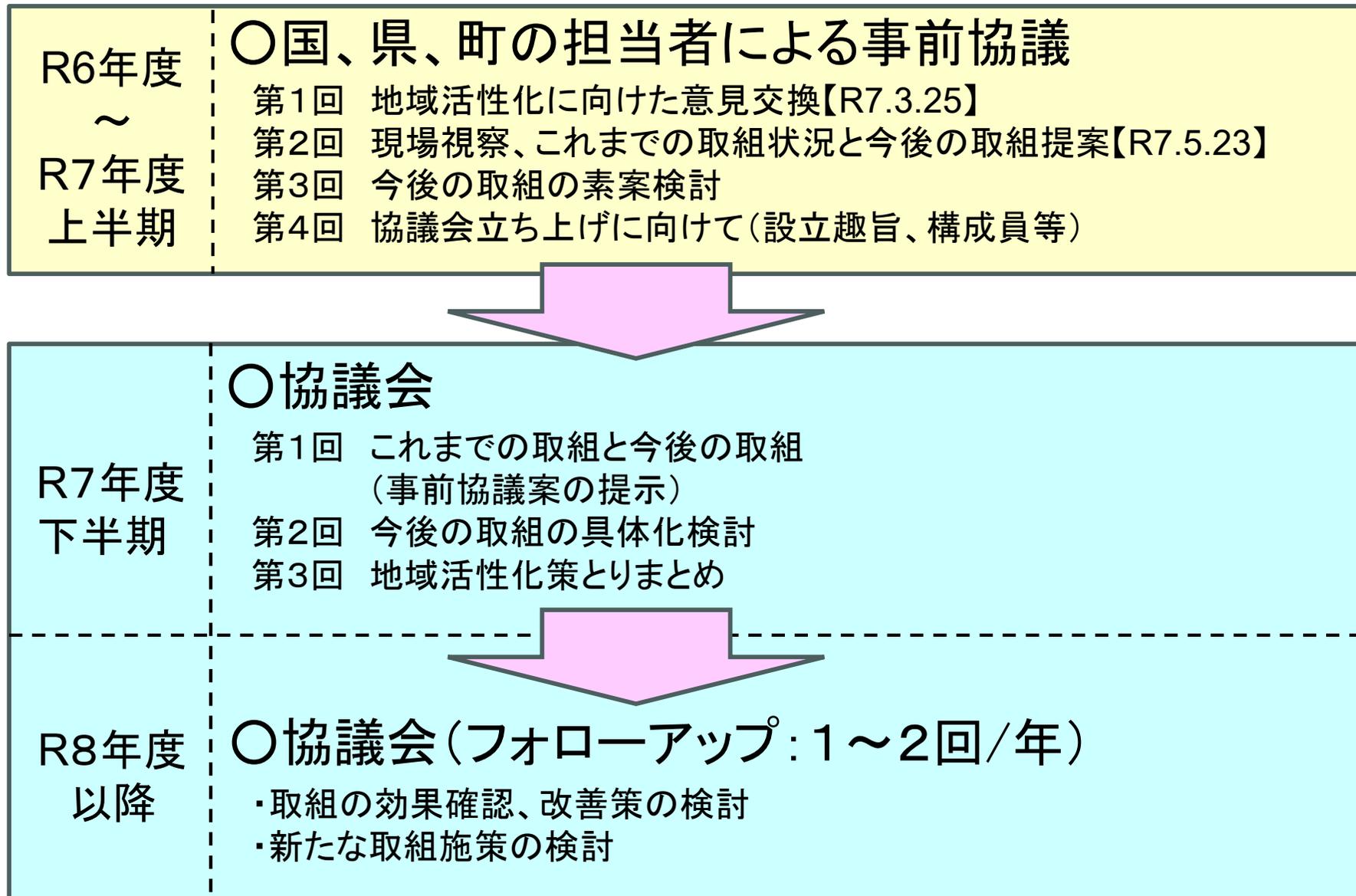
令和3年度～ 広報施設来場者



令和3年10月より運用開始
令和6年7月より終日開放

足羽川ダムを活用した地域活性化策について

池田町は豊かな自然や観光資源等を有している。現在、建設中の日本最大規模の流水型ダムである足羽川ダムを活用した、様々な情報発信や広報施策を実施することにより、地域活性化を推進する。



足羽川ダム建設事業に係る水源地域対策について

● 池田町地域振興策（池田町定住促進対策）【令和4年6月8日変更決定】

足羽川ダム建設による影響、急速に進む少子化や人口の流出など、池田町の人口減少に係る諸課題に対し、定住促進対策を主とする地域振興策を下記のとおり実施するものとする。

【人の誘致と定住の促進】

- ①就農移住者への支援
- ②若者起業者への支援
- ③町外若者獲得住宅の整備
- ④移住希望者への住宅提供・空き家物件情報の発信
- ⑤町内新築希望者への支援

【結婚定住の促進】

- ①多世帯住宅改修への支援
- ②結婚定住者への支援

【町内での子育て支援】

- ①育児・子育て世帯への支援
- ②町外高校進学者への通学の支援
- ③人づくり産業への支援

【観光の振興】

- ① 県内外の家族層を対象に、里山体験型テーマパーク「ツリーピクニックアドベンチャーいけだ」（ジップライン・アドベンチャーボート）等を整備
- ②池田町の自然環境や伝統文化に親しむツアーを実施

【産業の振興】

- ①町内6次産業商品の販路拡大
- ②百匠一品運動（6次産業化）の拡充（商品開発補助）
- ③安全安心な有機農業商品としてPRを強化し、町産品をブランド化

【水源地域の振興】

- ①足羽川ダム水源地域振興交付金事業
- ②町道・林道舗装、展望休憩施設整備事業
- ③国道476号道路改良事業（白栗トンネル）等

【克雪および町外への通勤・買い物等対策】

- ①克雪対策事業（屋根融雪）への支援
- ②安全・安心な道路確保（国道417号道路改良事業（板垣坂トンネル）等）
- ③町民の暮らし向上、能楽の里を生かした賑わい創出（町道稻荷水海線道路改良事業）

※ここに掲げる事業については、必要に応じ、国土交通省、福井県および池田町が協議のうえ見直しするものとする。

